

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	診療放射線技師学科(夜間部)	科目区分	専門分野	授業の方法	講義
科目名	病理学	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	45 (2) 時間(単位)
対象学年	2年次	学期及び曜時限	前期	教室名	第3校舎901教室
担当教員	安藤 英次	実務経験と その関連資格			
《授業科目における学習内容》					
重要な病理学的用語や代表的な疾病の病態について把握し、診療放射線技師の職務を遂行するために必要な医学的知識としての病理学を習得する。					
《成績評価の方法と基準》					
筆記試験(100%)					
《使用教材(教科書)及び参考図書》					
教科書:カラーで学べる病理学 改定5版 渡辺照男 編集 ヌーヴェルヒロカワ					
《授業外における学習方法》					
次回の授業内容を確認し、使用教科書等を用いて事前学修(予習・復習)すること。					
《履修に当たっての留意点》					
放射線技師として病理学の知識を備えて、日常の画像診断による病気の早期発見と手術支援画像を構築してください。					
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	病理学の概要について説明できる。	教科書 他	予習、復習は欠かさずしておくこと
		各コマにおける授業予定	・病理学概説 ・疾病の要因と回復力(ホメオスタシス) ・病理学と臨床医学(病理解剖と診断病理)		
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	細胞・組織とその障害を理解する	教科書 他	予習、復習は欠かさずしておくこと
		各コマにおける授業予定	・細胞・組織の構造と機能 ・細胞障害(壊死とアポトーシス) ・細胞と組織の萎縮 ・幹細胞とiPS細胞について		
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	再生と修復、化生と創傷を理解する	教科書 他	予習、復習は欠かさずしておくこと
		各コマにおける授業予定	再生と再生医療 異物処理と肥大過程 化生と創傷(肉芽組織)		
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	循環器障害を理解する	教科書 他	予習、復習は欠かさずしておくこと
		各コマにおける授業予定	・充血とうっ血、血液凝固と血栓症 ・出血・塞栓症、虚血と梗塞 ・浮腫、ショック、高血圧		
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	炎症について説明できる。	教科書 他	予習、復習は欠かさずしておくこと
		各コマにおける授業予定	・炎症のメカニズム ・炎症の種類(慢性と急性)		

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	免疫とアレルギーについて説明できる。	教科書 他	予習、復習は欠かさずしておくこと
		各コマにおける授業予定	・免疫のしくみと働き ・アレルギーと自己免疫		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	感染について説明できる。	教科書 他	予習、復習は欠かさずしておくこと
		各コマにおける授業予定	・原生微生物の種類と特徴 ・感染様式・経路および潜伏期間 ・感染予防措置と感染防御 ・放射線業での感染予防措置と感染防御		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	代謝異常について説明できる。	教科書 他	予習、復習は欠かさずしておくこと
		各コマにおける授業予定	・脂肪代謝と糖質代謝 ・タンパク質代謝と生活習慣病		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	老化と老年病について説明できる。	教科書 他	予習、復習は欠かさずしておくこと
		各コマにおける授業予定	・生理的な老化と老化のしくみ ・老年とがん発生 ・疾病としての老化病		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	新生児と先天異常について説明できる。	教科書 他	予習、復習は欠かさずしておくこと
		各コマにおける授業予定	・正期産児の疾病、早産児の疾病 ・先天異常の原因 ・ダウン症 ・水頭症 ・脊髄異常など		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	腫瘍について説明できる。	教科書 他	予習、復習は欠かさずしておくこと
		各コマにおける授業予定	・腫瘍の分類形態、発生発育 ・悪性腫瘍の伸展と転移、宿主 ・腫瘍原因と発生メカニズム ・腫瘍の疫学		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	生命の危機について説明できる。	教科書 他	予習、復習は欠かさずしておくこと
		各コマにおける授業予定	・日本人の死因 ・生命の危機をもたらす損傷 ・バイタルサインとショック症状 ・死の兆候		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	循環器系	教科書 他	予習、復習は欠かさずしておくこと
		各コマにおける授業予定	・循環器の形態や機能 ・主な疾患 1)心疾患 2)血管疾患		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	呼吸器系	教科書 他	予習、復習は欠かさずしておくこと
		各コマにおける授業予定	・呼吸器の形態や機能 ・肺炎と肺がん		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	歯・口腔系と感覚器系	教科書 他	予習、復習は欠かさずしておくこと
		各コマにおける授業予定	・歯・口腔の形態や機能 ・主な疾患 1)う蝕と歯周病 2)粘膜病変と腫瘍 ・感覚器の疾患 1)視覚器 2)聴覚器 3)嗅覚器		

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	診療放射線技師学科(夜間部)	科目区分	専門分野	授業の方法	講義
科目名	病理学	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	45 (2) 時間(単位)
対象学年	2年次	学期及び曜時限	前期	教室名	第3校舎901教室
担当教員	安藤 英次	実務経験と その関連資格			

《授業科目における学習内容》

重要な病理学的用語や代表的な疾病の病態について把握し、診療放射線技師の職務を遂行するために必要な医学的知識としての病理学を習得する。

《成績評価の方法と基準》

筆記試験(100%)

《使用教材(教科書)及び参考図書》

教科書:カラーで学べる病理学 改定5版 渡辺照男 編集 ヌーヴェルヒロカワ

《授業外における学習方法》

次回の授業内容を確認し、使用教科書等を用いて事前学修(予習・復習)すること。

《履修に当たっての留意点》

放射線技師として病理学の知識を備えて、日常の画像診断による病気の早期発見と手術支援画像を構築してください。

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第16回	講義形式	授業を通じての到達目標 消化器系	教科書 他	予習、復習は欠かさずしておくこと
	各コマにおける授業予定	・消化器の形態や機能 ・主な疾患 1)食道・胃・腸の疾患 2)肝・胆のう・膵臓の疾患		
第17回	講義形式	授業を通じての到達目標 内分泌器系	教科書 他	予習、復習は欠かさずしておくこと
	各コマにおける授業予定	・内分泌器の形態や機能 ・主な疾患 1)脳下垂体・甲状腺・副甲状腺の疾患 2)副腎・内分泌腫瘍症・膵臓ランゲルハンス島などの疾患		
第18回	講義形式	授業を通じての到達目標 造血器系	教科書 他	予習、復習は欠かさずしておくこと
	各コマにおける授業予定	・造血器の形態や機能 ・主な疾患 1)貧血・白血病・多発性骨髄腫 2)脾腫・リンパ節炎・悪性リンパ腫の疾患		
第19回	講義形式	授業を通じての到達目標 腎・尿路系	教科書 他	予習、復習は欠かさずしておくこと
	各コマにおける授業予定	・腎と尿路の形態や機能 ・主な疾患 1)慢性腎不全と尿毒症 2)糸球体の疾患・尿路感染症・腎と膀胱がんなど		
第20回	講義形式	授業を通じての到達目標 生殖器・乳腺	教科書 他	予習、復習は欠かさずしておくこと
	各コマにおける授業予定	・生殖器と乳腺の形態や機能 ・主な疾患 1)男性性器と女性性器の疾患 2)乳腺		

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第21回	講義形式	授業を通じての到達目標	脳・神経	教科書 他	予習、復習は欠かさずしておくこと
		各コマにおける授業予定	・脳と神経の形態や機能 ・主な疾患 1)頭蓋内圧亢進・ヘルニア・血管障害 2)外傷と脳腫瘍		
第22回	講義形式	授業を通じての到達目標	運動器①	教科書 他	予習、復習は欠かさずしておくこと
		各コマにおける授業予定	骨・関節の形態や機能 1)骨、関節 2)筋肉 3)骨・関節の病気		
第23回	講義形式	授業を通じての到達目標	救急医療と病理診断	教科書 他	予習、復習は欠かさずしておくこと
		各コマにおける授業予定	・救急医療と医療人 ・病理診断と画像診断		
第24回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第25回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第26回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第27回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第28回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第29回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第30回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			